

品川支部

令和8年 6月1日発行

〒 141-0022

品川区東五反田1-8-5

TEL 3442-7075

6月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

素敵なおちば 梅雨の合間に田植えも

六月のおちばは、大きなイベントがなく初夏の日差しでみどり鮮やかに
落ち着いた気持ちの良い季節です

布留川のポイントでは多くのホテルが確認できます
月の終わりには杣之内で真柱様ご家族が学生とともに田植えする姿を
見ることが出来るかもしれません
多くの方の真実で作られたお米は「御供」等に用いられるそうです



例年20日以降7月5日あたりで行われる
楽しい田植え風景

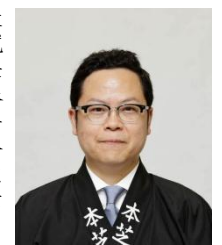


☆支部行事のお知らせ

- ・支部例会
今月は移動例会につき一般参加は有りません
- ・支部幹事会
今月は事務指導が個別に有り、終了後の
五時から会場の日本橋大教会で行います
- ・在宅センターひのきしん
一日(月)十時から、大井町駅前にて
神名流し
六月二十七日(土)午前九時半〜十一時
- ・教区ひのきしん
担当は櫻京組ですので宜しくお願い致します
- ・子供おちば帰り 少年ひのきしん隊募集
東京教区団は七月二十九日から八月一日
本部の活動に基づき七月十九日に事前研修
*募集は七月十日までに申し込み下さい
- ・教区記念祭参加人数統計
今回四月四日に行われました教区記念祭の
参加人数は大雨にも関わらず、七百十二名に
上りました
- 品川支部はその中焼きそばを提供致しました
ひのきしん参加の方、有り難うございました

☆教務支庁からのお知らせ

- ・新主事に新本芝大教会長
東京教区では本芝大教会長就任の
白木原一始(かずもと)氏が新たに
主事としてお勤めされます
- ・支部各部会から
大教会長就任奉告祭は七月五日
- ・婦人会から
支部婦人会では、支部内の夫人の交
流の場として、年一、二回昼食をとり
ながら楽しい会を催しています
今回は先頃大井町駅近くに完成致
しました大井町トラックスの探索を兼
ねての会になりました
毎回十名前後ですので、支部ご婦人
の方は是非ご参加して下さい
教務部から
今月九日は都税事務所提出のための
事務指導が日本橋大教会をお借りし
て各教会ごとに行われます
各教会の指導時間は別紙にてお知ら
せの通りです
毎年行われておりますが品川支部
はいつも漏れることなく提出が行われ
ておりますので今回も宜しくお願い致
します



大教会長就任奉告祭は七月五日

時報手配り六月予定

手配りのひのきしんを
していただける方募集
内容はお近くの教友宅への
二、三軒(時報のポステイ
ングです

	3日号	10日号	17日号	24日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	直送	直送
三ツ木	手配り	手配り	直送	直送
南 泰	手配り	手配り	手配り	手配り
本 桂	手配り	手配り	手配り	手配り

品川支部例会

今月は移動例会の為、通常の形式の例会は有りません。

次回7月は21日、豊英分教会の会場で行われます。例会は毎回会場を変えて、お住まいの近くの方に参加して頂きやすいよう行われております。

お近くの会場の折は是非ご参加頂きますようお願いいたします。

新会長紹介

神品川分教会長



神品川分教会の浅田一善と申します。昨年、父と会長交代したばかりの新米の会長です。

うちの教会では、三年前から、地域の方を対象にこども食堂をしようになりました。

こども食堂は、最近ではコマールシャルもするようになりましたが、無料または安価で温かい食事を食へることが出来る家庭や学校以外の居場所です。

世間では、ボランティアの方やNPOの方が運営しています。

私も以前から、何か地域に貢献させていたことができないかと思っていました。が、お道の教会でもこども食堂をすることが増えていて、自分も結婚を機に、妻と相談して、始めさせていただきます。

まず、品川区では、社会福祉協議会が子ども食堂の開設を応援しているため、相談にきました。

そこで、職員さんから、具体的な始め方を教えてもらいスムーズにスタートすることができました。

最初3ヶ月は、会食はせずお米やレトルトなどの食材の配布をしました。信者さんではない方が教会に来てくれるのかと不安でしたが、他のこども食堂からの紹介もあり、初回から10人くらいの方が来て下さいました。

その後、会食を始めるに当たり、メニューはカレーと月替わりのデザートで、開催は月に一回日曜日のお昼にする。こどもにしました。大人も子どもも百円でカレーはおかわり自由にしました。参加して下さいの方は「カレーがおいしい」と喜んでくれ、その後、一組、二組と毎月参加者が増えていきました。

だんだん人数が増えると、教会が狭く、一度に入りきれないため、最近は一時間交代で2回に分けています。

子ども食堂というと小学生の子が参加してくれるイメージが強かったのですが、うちは、日曜の開催のためか、赤ちゃん連れや保育園、幼稚園のこどもさん連れのご家族の参加が多く、小さなイスに座ってこどもたちが並んでいるとかわいい限りです。

小さい子が多い理由として、なかなか子ども(特に赤ちゃん)を連れて外食をするのも難しいがあるのかなと思います。お店では子どもが泣いたり、騒いだりすると白い目で見られたりしますが、子ども食堂では、泣いても安心して、温かい目でみてくれることがあるため、保護者の方も気を遣わなくていいのではと考えられます。

参加して下さいの方は、カレーがおいしいとおかわりされ、デザートも喜んで下さり、また来たいと言って下さるのは、とてもありがたいです。また、教会が古いせいか、

「田舎のおばあちゃん家に来たみたい」、「畳の部屋が落ち着く、温かい居場所」と言ってお下り、毎月続けて参加して下さいの方が多いです。

家では食が細くあまり食べないと言っていた子がカレーをおいしいとおかわりして、お母さんが喜んでくれたこともありました。

こども食堂の運営は、主に教会の家族と信者さんで行っていましたが、途中から一般の方がボランティアに来てくれ、「楽しい」と言ってそれから続けてきてくれたりして、人との出会い、縁も広がっています。

三年間毎月一回の開催を続けるのは大変でしたが、子どもたちのうれしそうなお顔をみるとまた、がんばろうと思えます。

これからも地域の子どもたち、親御さんのお役に立てるように、底なしの親切、またにいがけおたすけの心で、みなさんに喜んでもらいたいと思います。

浅田一善

